日本学術会議 「公正原理を重視する公教育システムの再構築」分科会 公開シンポジウム

日本の公教育システムの再構築 一教育の公正の視点から一

格差社会の進展のもとで、日本の公教育システムの意義が問い直されている。その改善のために今日主として採用されているのが、競争原理や成果主義を中心とする新自由主義的な改革手法である。そこでは、もっぱら教育の「卓越性」(excellence)が取り沙汰され、教育の「公正」(equity)の原則は等閑視されがちである。

本シンポジウムでは、具体的には、「格差」や「貧困」や「社会的排除」といった現代的な諸課題に対して、有効な手立てとなりうる教育の制度・内容・方法の抜本的な検討を行い、具体的な提案に結びつけたい。

司会 竹下秀子(滋賀県立大学教授、日本学術会議連携会員)

13:30 趣旨説明 竹下秀子

13:40 過剰包摂社会の超克と「ポスト・第三の道」 - 教育政治学の視点から 小玉重夫

(東京大学大学院教育学研究科教授、日本学術会議第一部会員)

14:10 格差社会における排除と包摂ー教育社会学の視点から

志水宏吉

(大阪大学大学院人間科学研究科教授、日本学術会議第一部会員)

14:40 ガバナンス改革と教育の平等保障 - 教育行政学の視点から

大桃敏行

(東京大学大学院教育学研究科教授、日本学術会議連携会員)

15:10 休憩

15:25 コメント「教育の歴史の視点から」

広田照幸(日本大学教授、

日本教育学会会長)

15:40 コメント [国際比較の視点から]

北村友人(東京大学大学院教育学研究科准教授、

日本学術会議連携会員)

15:55 パネルディスカッション 「日本の公教育システムの再構築に向けて」

17:00 閉会

日時 2016年7月2日 土 13:30-17:00

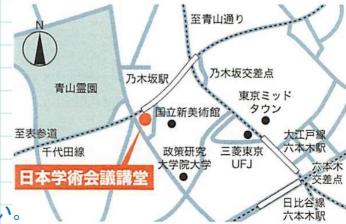
場所

日本学術会議講堂

http://www.scj.go.jp/ja/other/info.html (千代田線乃木坂駅下車3分)

参加費無料/先着250名様

※事前申し込み不要。当日直接会場にお越しください。



共 催:大阪大学未来戦略機構第五部門未来共生イノベーター博士課程プログラム

後 援:日本教育社会学会・日本教育行政学会・日本比較教育学会